

# BF-101SR

## 取扱説明書／保証書

目次	ページ
ご使用上の注意	2
各部の名称	4
ご使用にあたって	6
ご使用前の充電	7
取付け方法	8
機能と操作方法	10
警報方法	23
警報・設定ボイス一覧表	25
取締りの種類と方法	27
その他	30

この度は、ベストワンシリーズをお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。本書には取付けおよび操作手順が説明されています。本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本書をお読みください。又、お読みになった後は、いつでも見られるよう大切に保管してください。

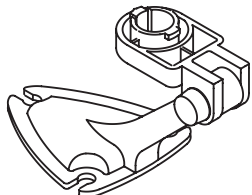


### ご使用上の注意

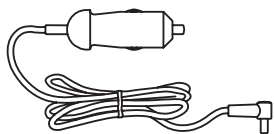
#### 注意

- フロントガラス上部にスモーク/ブロンズ処理等がある車種は本製品の取付け位置によってはソーラーパネルへの光量不足の為、正常な充電ができない場合があります。その場合、本製品の取付け位置を変更するか、付属のシガープラグをご使用ください。
- 本製品にはお買い上げの日から1年間の製品保証がついています。(但し、内蔵電池、吸盤、両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません)
- 本製品はレーダー式(X・Kバンド)取締り機、カーロケータースystem、デジタル無線、警活系無線、ヘリテレ無線、取締り用連絡無線350.1MHzのみ有効で、光電管式、ループコイル式、LHシステム式、ワイヤー式等の方式による速度取締り機には反応しません。
- 断熱ガラス(金属コーティング、金属粉入り等)装着車はレーダー波の透過率が低い為、受信距離が極端に短くなる恐れがあります。
- 一部のナビゲーションシステム装着車において、ナビゲーションシステムからの漏れ電波がレーダー波と同一周波数の場合、排除できない事があります。
- レーダー波と同一周波数のマイクロ波を利用した機器(下記)周辺で本製品が警報を行う事があります。これは誤作動ではありません。あらかじめご了承ください。(自動ドア、防犯センサー、車輪通過計測器、気象用レーダーの一部、航空用レーダーの一部)
- 内蔵バッテリーは約5年が交換の時期となりますが、使用状況によっては寿命が短くなります。
- 部品の交換、修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお申し付けください。
- 本製品を厳寒地でご使用になる場合、内蔵バッテリーの性能が十分に発揮できない場合があります。付属のシガープラグをおあわせてご使用ください。
- 環境保護と資源の有効利用をはかる為、寿命となった本製品、内蔵バッテリーの回収を弊社にて行っています。
- 本製品を取付けての違法行為(スピード違反等)に関しては、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品の仕様及び外観は改良の為、予告なく変更する事があります。ご了承ください。

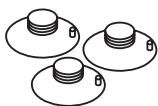
### 各部の名称 (付属品)



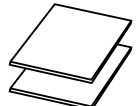
ステアー (1個)



シガープラグ (1個)



吸盤 (3個)



両面テープ (2枚)

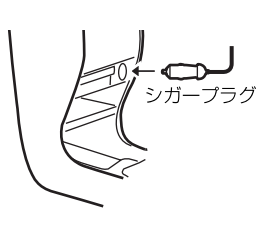
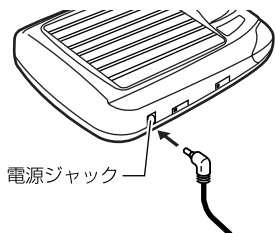
### ご使用前の充電

**ご使用前に必ず十分な充電を行ってください。**

本製品は、商品出荷時には検査用予備充電のみされています。長時間、充電しないと内蔵バッテリーが自然放電します。初めてご使用になる時は必ず付属のシガープラグを使用し、**本製品の電源をオフの状態**でエンジンをかけて**2時間以上充電してください**。(充電は断続的に行う事も可能です。その場合、目安として**4時間以上充電してください**)

#### ●充電の方法

- 1 製品本体の電源ジャックに付属のシガープラグを差し込みます。
- 2 車輪シガーソケットに付属のシガープラグを差し込みます。
- 3 車輪のエンジンを始動した状態で充電を行ってください。



### ご使用上の注意

ご使用前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると、生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに分けています。

**警告：** 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

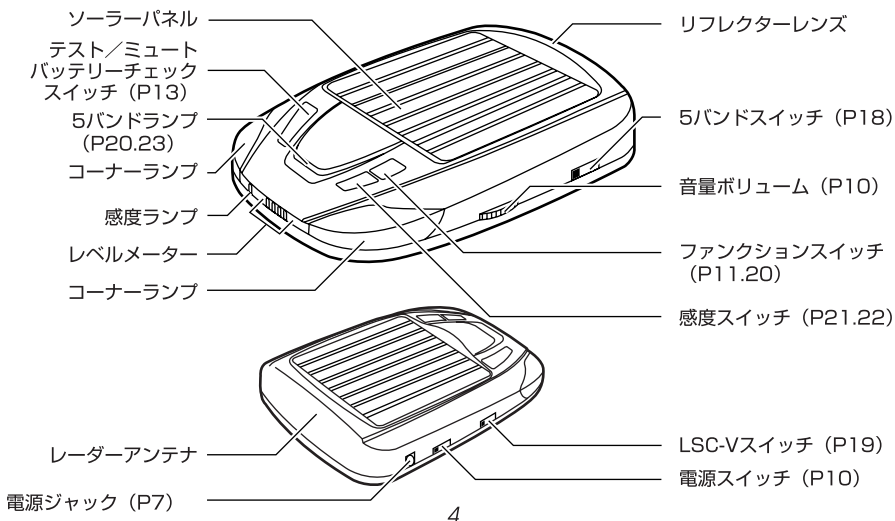
**注意：** 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

#### 警告

- 本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。わき見運転は、事故の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品の取付けは車輪の機能(ブレーキ、ハンドル、エアバック等)の妨げにならない場所に取付けてください。
- 本製品の取付けは確実に行ってください。走行中に外れたり、落下した場合事故、ケガの原因となります。
- 本製品が万一、破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
- 本製品に付属のシガープラグを接続したままの状態でお車から離れる(エンジン停止)場合は、必ず本製品の電源をオフしてください。イグニッションキーオフの状態でもシガーライターに電源が供給される車種がありますのでご注意ください。

### 各部の名称

(注) 取扱説明書内の製品イラストと実際の製品は一部形状等が異なる場合があります。  
一部スイッチの機能が機種により異なります。



### ご使用にあたって

本製品は、通常の使用状況においてソーラーパネルの発電量と回路消費電力のバランスがとれるように設計されています。ただ、下記のような場合、発電量が不足しローバッテリーサイン(内蔵バッテリー充電不足)が表示される事があります。もしこのような症状が現れた場合、付属のシガープラグを使用して定期的に充電を行ってください。



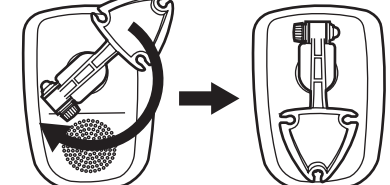
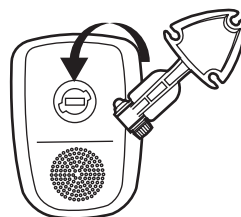
### 取付け方法

#### 本製品お取付けの前に

- ・フロントガラス上部のスモーク・ブロンズ処理部付近へのお取付けは、正常な充電ができない場合があります。付属のシガープラグをご使用ください。
- ・フロントガラスがUVカットガラス等の場合、ソーラーパネルへの光量不足の為、正常な充電ができない場合があります。付属のシガープラグをご使用ください。
- ・運転や視界の妨げにならず、車輪の機能(エアバック等)に影響のない場所に取付けてください。

#### ステアーの取付け方法

- 1 ステアーのツメ部分を本体底面の凹にあわせてはめ込みます。
- 2 ステアーをゆっくりと矢印方向にまわし、向きを調整します。



(注) ステアーを逆方向にまわしたり、無理にまわしたりした場合、本製品を破損する恐れがあります。

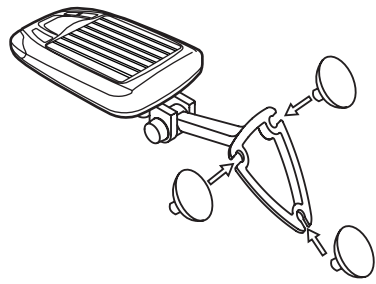
## 取付け方法

### お車への取付け方法

- ・道路に対して平行、レーダー受信部を進行方向に向けて取付けてください。
- ・レーダーアンテナ部前方に金属等、電波を遮断するものが無い場所に取付けてください。
- ・ソーラーパネル全面に太陽光が当たる場所に取付けてください。

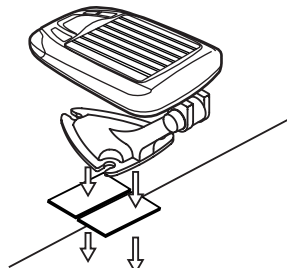
#### 1 フロントガラスへの取付け

付属の吸盤を3個使用してフロントガラスに取付けます。  
(注) 取付け面の汚れを十分に拭き取ってから取付けてください。



#### 2 ダッシュボードへの取付け

付属の両面テープを1個又は、2個使用してダッシュボード上に取付けます。両面テープは必要な形状にカットしてご使用ください。  
(注) 貼付け面の汚れを十分に拭き取ってから取付けてください。



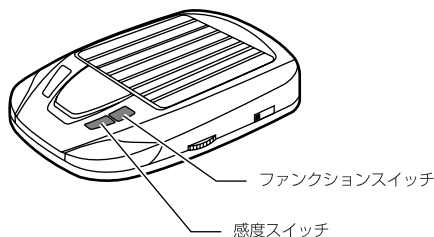
## 機能と操作方法

### 言語切替え機能/デモンストレーション機能

- 本製品は警報時や設定時のボイスアナウンスを切り替えることができます。

FUNCTIONスイッチを押す毎に 日本語モード 英語モード と切替ります。

- ※ 本取扱説明書は日本語モード時のボイスアナウンスにて説明してあります。英語モードのボイスアナウンスに関してはP26の一覧表をご覧ください。



- デモンストレーション機能・・・本製品の一連の動きを繰り返しデモンストレーションします。

(販売店様向け 商品ディスプレイ時にご使用ください)  
1. 付属のシガープラグを本製品に接続します。  
2. 感度スイッチ (SENS) とファンクションスイッチ (FUNCTION) を押したままの状態にて電源スイッチをオンにします。  
※再度、同じ操作を行うと解除します。

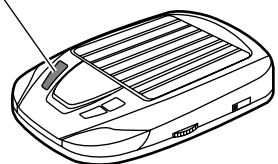
11

## 機能と操作方法

### バッテリーチェック機能/オートボリュームダウン・オートディマー・ローバッテリーサイン機能

各ランプ、警報音の動作確認を行うテスト機能と、レーダー波受信中の警報音をミュート (消音) するミュート機能。(警) 運転者は走行中に本製品の操作を行わないでください。必ず、同乗者の方が操作を行ってください。

テスト/ミュート  
バッテリーチェック  
スイッチ



バッテリーチェック機能		レベルメーター	充電状態
	4つ点灯	充電80%以上	十分充電がされています。
	3つ点灯	充電60%	充電されています。
	2つ点灯	充電40%以下	充電をお勧めします。

注 上記表はあくまでも目安です。電池の特性上、短時間の充電でも満充電 (4つ点灯) する場合がありますが、必ず規定時間の充電 (P7) を行ってください。

- オートボリュームダウン機能・・・レーダー波を受信したのち約10秒後に、警報音量を小さくします。
- オートディマー機能・・・昼や夜等、周囲の明るさの変化によって各ランプの光量を2段階で自動調整します。
- ローバッテリーサイン機能・・・内蔵バッテリーの充電量が低下し充電の必要がある場合アナウンスでお知らせします。(P25,26参照)

13

## 機能と操作方法

### デジタル無線受信方法

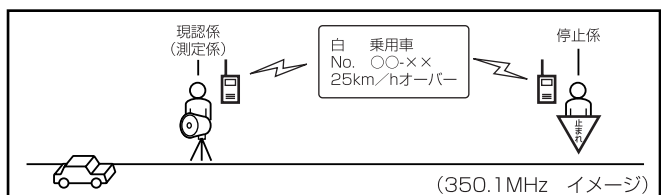
- デジタル無線とは...

各警察本部と移動局 (緊急車両等) とが行う無線交信で、159MHz帯~160MHz帯で約53chの電波を受信します。通話内容がコード化 (デジタル化) されており通話内容を聞く事はできませんが、音声と、ランプで警報を行い付近を走行する緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

### 350.1MHz受信方法

- 取締り連絡無線 (350.1MHz) とは...

取締り用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締り等で使用することがあります。また、通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声受信ができない場合もあります。



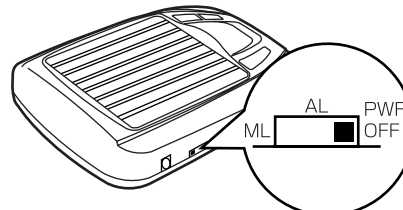
(350.1MHz イメージ)

15

## 機能と操作方法

### 電源スイッチ

本製品は、電源スイッチと警報音選択スイッチを兼用しています。



スイッチ位置	電源	警報音
PWR OFF	オフ	—
AL	オン	アラーム音 (電子音)
ML	オン	メロディー音

(注) 長時間、本製品をご使用にならない場合は電源スイッチをOFFにしてください

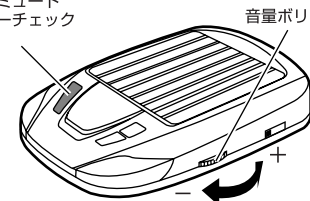
### 音量ボリューム (音量の調整)

本製品の警報音の音量調整を行います。

- 1 本製品の電源が入った状態で、軽く振動をあたえながら、テスト/ミュート/バッテリーチェックスイッチ (T/M/B) を押します。

- 2 各ランプ、アラーム音がテスト動作を行います。音量を確認しながら、音量ボリュームで適度な音量に調整します。

テスト/ミュート  
バッテリーチェック  
スイッチ



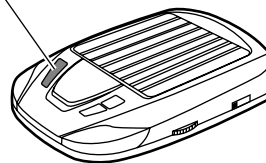
10

## 機能と操作方法

### テスト/ミュート機能

各ランプ、警報音の動作確認を行うテスト機能と、レーダー波受信中の警報音をミュート (消音) するミュート機能。(警) 運転者は走行中に本製品の操作を行わないでください。必ず、同乗者の方が操作を行ってください。

テスト/ミュート  
バッテリーチェック  
スイッチ



テスト機能	警報を行っていない状態で、テスト/ミュート/バッテリーチェックスイッチ (T/M/B) を押します。各ランプ、アラーム音がテスト動作します。
ミュート機能	警報中にテスト/ミュート/バッテリーチェックスイッチ (T/M/B) を押します。各ランプ表示は警報状態のまま、警報音のみをミュート (消音) します。受信電波がなくなると、自動的にミュート解除します。

12

## 機能と操作方法

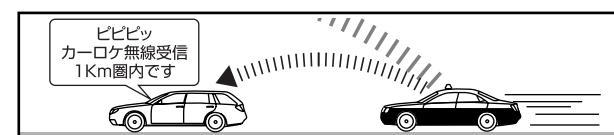
### カーロケーターシステム受信機能

- カーロケーターシステムとは...

正式名称を「無線自動車動態表示システム」と言い、緊急車両に装備されたGPS受信機より算出した位置データを無線で定期的 (間欠) に各本部の車両管理センターへ送信するシステムです。本製品は緊急車両からの電波を受信し、音声で警報を行い、緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。



現在、緊急車両の多くはGPSより算出した位置データを無線で定期的 (間欠) に各本部に送信するカーロケーターシステムを装備しています。



本製品は各本部へ送信している電波を受信し、音声で警報を行い、緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

- (注)
- 一部地域または、一部緊急車両には、カーロケーターシステムが装備されていない為、本製品では受信できない場合があります。
  - カーロケーターシステムは間欠で送信される為、実際の緊急車両の接近と受信タイミングにズレが生じる場合があります。
  - 緊急車両は走行状態 (緊急走行、通常走行、駐停車) によって、電波の送信時間が変化する為、実際の緊急車両の接近と受信タイミングにズレが生じる場合があります。
  - 緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わない為、本製品での受信はできません。
  - 送信電波の中継局、受信本部近辺では緊急車両の接近に関わらず受信する場合があります。
  - 本製品が受信するカーロケーターシステムは、パトカー、覆面パトカーを中心に導入されており白バイ、救急車、消防自動車等には現在導入されておりませんが、将来的には導入する可能性があります。

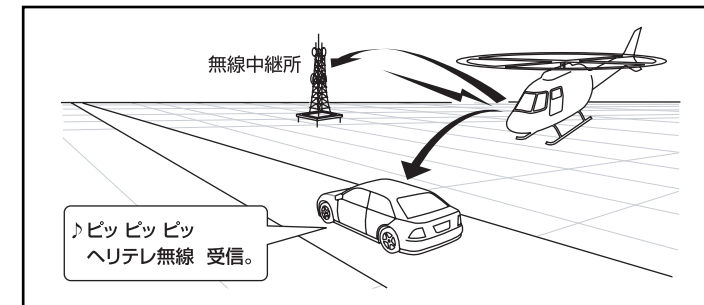
14

## 機能と操作方法

### ヘリテレ無線受信方法

- ヘリテレ無線とは...

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で警察所属のヘリコプターから全国にある無線中継所に送信される無線通信のことです。主に事件・事故等の情報収集、取締り等の時に上空と地上とで連絡を取るために使われています。本製品は警察所属のヘリコプターから無線中継所間の電波を受信し、音声とアラームで警報を行い、事件・事故等の情報を事前に知ることができ安全な回避を促します。



- (注)
- 一部地域または、一部ヘリコプターにはヘリテレ無線が装備されていない為、本製品では受信できない場合があります。
  - ヘリテレ無線はヘリコプターが電波を送信した時のみ受信することができます。
  - 送信電波の中継所周辺ではヘリコプターの接近に関わらず受信することができます。

16



## 機能と操作方法

### 署活系無線受信方法

#### ●署活系無線とは…

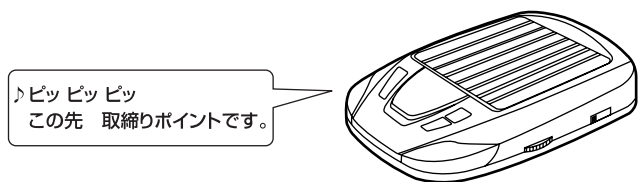
パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用している無線交信で約134chの電波を受信します。

### 取締りポイント受信方法

#### ●取締りポイント受信とは…

5バンドの中でもカーロケ・署活系無線を一定時間に連続して受信すると近くで取締り(検問等)が行われている可能性が高いことをボイスとランプにてお知らせし、事前に情報を知ることができ安全な回避を促します。

(注) 取締りポイントで必ず取締りが行われているとは限りません。



17

## 機能と操作方法

### 振動検出の設定

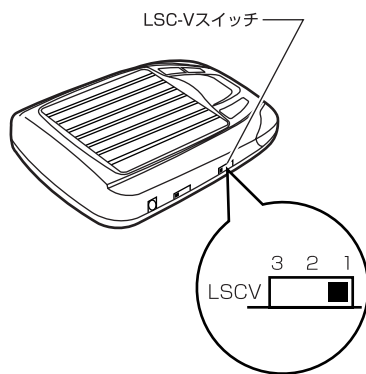
#### LSC-V機能

LSC-Vとは・・・ロー・スピード・キャンセラーバイブレーションの略称で、内蔵バッテリーの長時間使用を可能にする為、駐停車時と走行時の振動差を検出し、駐停車時には電源をオフし無駄な警報をカットし、走行中は電源オンする事で、内蔵バッテリーの電源節電を行う振動検出機能です。また、ASC-V設定時には検出した振動の大きさにレーダー受信感度の自動設定を行います。

- 1 本製品の電源が入った状態にします。
- 2 下記表を参照し、車輛にあった状態にLSC-Vスイッチ(LSC-V)を設定してください。

LSC-Vスイッチ	振動検出感度	車輛タイプ(目安)
1	低	ディーゼル(振動の大きい車輛)
2	中	ガソリン/ディーゼル
3	高	ガソリン(振動の小さい車輛)

注・目安として走行速度が約30km/h以上で、電源オン(感度ランプ点滅)となる位置に設定してください。  
 ・駐停車中または、低速走行中(感度ランプ消灯時)は本製品の電源オフ状態の為、各警報は行いません。  
 ・振動の多い車で、LSC-Vを1に設定しても駐停車時に電源オフできない車輛の場合は、LSC-Vを1に設定してご使用ください。



19

## 機能と操作方法

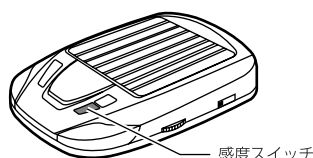
### レーダー受信感度の設定(マニュアル)

●本製品はレーダーの受信感度をLOW(ロー) HI(ハイ) S-HI(スーパーハイ) HYPER(ハイパー)の4段階に手動で設定するマニュアル設定機能と走行振動を検出して適切な受信感度を自動設定するASC-V機能とがあります。\*商品出荷時はマニュアル感度設定・HYPER(ハイパー)に設定してあります。

感度スイッチを長押し(2秒以上)する毎に「マニュアル設定機能」ASC-V機能と切替ります。

- 1 本製品の電源が入った状態にします。
- 2 感度スイッチ(SENS)を長押し(2秒以上)し(ボイスアナウンスにてお知らせします。)
- 3 感度スイッチ(SENS)を押す毎に「LOW→HI→S-HI→HYPER」の順に受信感度が切替ります。下記表を参照し最適な受信感度を設定して下さい。

受信感度	感度ランプ	走行場所
LOW	赤	市街地
HI	橙	郊外地
S-HI	緑	郊外地・高速道路
HYPER	青	高速道路



21

## 警報方法

### 5-BD・取締りポイントによる警報/5-BD遠近識別表示

●5-BD無線を受信した場合、下記の様に警報を行います。また、レベルメーターにより遠近の識別ができます。

#### 5-BDボイス警報の内容

5-BD種類	ボイス内容/光り方	注
カーロケ	ビビッピッ カーロケ無線 受信。(1Km・500m) 圏内です。/ 5-BDランプは、青色に点滅します。	*約30秒以内に再度受信し発信源が前回より接近していた場合に接近警報を行います。 注) 遠近・接近の識別は目安としての表示です。使用状況・走行状態・製品取付け位置・周辺の環境(電波状況)によっては正確な遠近・接近の識別が行えない場合があります。
350.1MHz	ビビッピッ 350.1無線 受信。/ 5-BDランプは、黄色に点滅します。	
ヘリテレ	ビビッピッ ヘリテレ無線 受信。/ 5-BDランプは、水色に点滅します。	
デジタル	ビビッピッ デジタル無線 受信。(1Km・500m) 圏内です。/ 5-BDランプは、紫色に点滅します。	
署活系	ビビッピッ 署活系無線 受信。 500m圏内です。/ 5-BDランプは、赤色に点滅します。	
接近警報	※ ビビッピッ (カーロケ デジタル) 無線 受信。 接近しています。	

注) 約30秒以内に再度受信し発信源が前回より接近していた場合に接近警報を行います。  
 注) 遠近・接近の識別は目安としての表示です。使用状況・走行状態・製品取付け位置・周辺の環境(電波状況)によっては正確な遠近・接近の識別が行えない場合があります。

#### 取締りポイント警報内容

取締りポイント	ビビッピッ この先 取締りポイント です。 / 5-BDランプが青色と赤色が交互に点滅します。
---------	---

注) 取締りポイントで必ず取締りが行われているとは限りません。

#### 遠近識別表示(目安)

近い	遠い
■■■■	■■■
左から3つ以上が点灯	左から2つ以下で点灯

23

## 機能と操作方法

### 5バンド受信機能(カーロケ/デジタル/350.1/ヘリテレ/署活系)

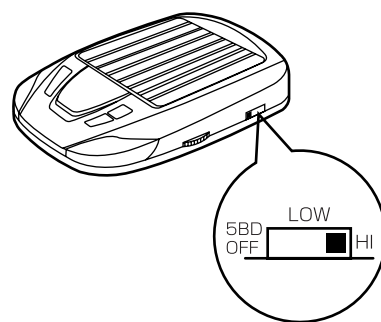
●本製品は、カーロケ・デジタル・350.1MHz受信、ヘリテレ無線・署活系無線受信の機能設定を5バンドスイッチで設定します。

\*5バンド受信を行う場合、内蔵バッテリーの消費電力が増加するためシガープラグコード接続でのご使用をお薦めします。

設定	受信感度
LOW	カーロケ/350.1/デジタル (約500m)
	署活系 (約500m)
	ヘリテレ無線 (約1000m)
HI	カーロケ/350.1/デジタル (約1000m)
	署活系 (約500m)
	ヘリテレ無線 (約2000m)

5-BDスイッチを下記を参照して適切な受信範囲を設定してください。

\*署活系無線については設定に関わらず受信感度は半径約500mになります。



18

## 機能と操作方法

### 5バンド無線機能ON/OFF設定

●本製品のFUNCTIONスイッチを2秒以上長押しすると設定モードに入ります。ON/OFFについては各機能それぞれボイスアナウンスします。また、設定モード中に30秒以上操作を行わないと自動終了します。

注) LSC-V機能が働くボイスアナウンスがでなくなります。その場合は本体に振動を与え操作を行って下さい。

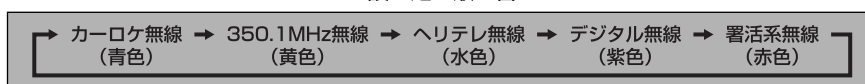
FUNCTIONスイッチを2秒以上長押し、設定モード状態にします。

FUNCTIONスイッチを押す毎に ON(ランプ点灯) OFF(ランプ点滅) と切替ります。

FUNCTIONスイッチを再度2秒以上長押しすると次の項目に移ります

下記表の順に設定機能が切替ります。

#### 設定順番



20

## 機能と操作方法

### レーダー受信感度の設定(ASC-V)

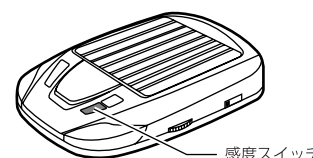
●本製品はレーダーの受信感度をLOW(ロー) HI(ハイ) S-HI(スーパーハイ) HYPER(ハイパー)の4段階に手動で設定するマニュアル設定機能と走行振動を検出して適切な受信感度を自動設定するASC-V機能とがあります。\*商品出荷時はマニュアル感度設定・HYPER(ハイパー)に設定してあります。

感度スイッチを長押し(2秒以上)する毎に「マニュアル設定機能」ASC-V機能と切替ります。

- 1 本製品の電源が入った状態にします。
- 2 感度スイッチ(SENS)を長押し(2秒以上)し、ASC-V機能に切替ります。(ボイスアナウンスにてお知らせします。)  
\*ASC-V機能が設定されている場合は、感度スイッチを押してもブザー音がなりません。

ASC-V機能・・・オート・センシティブ・コントローラーバイブレーションの略称で、走行中の速度変化による車輛振動の変化を検出して走行速度にあわせて適切な受信感度を自動で設定する機能です。

(注) ・ASC-Vを設定する場合、LSC-Vの設定(P19)を行ってください。  
 ・車輛振動が極端に大きな車や、駐停車時、走行時の振動差が小さい車はASC-V機能が正常に動かない事があります。そのような場合受信感度はマニュアル設定(P21)でご使用ください。  
 ・本製品の取付け位置(フロントガラス、ダッシュボード等)によっても振動の検出度合いが変わる事があります。



22

## 警報方法

### レーダー受信時の警報

●レーダー式取締り機に接近した場合、下記の様に警報を行います。

レーダー式取締り機 迄の距離 (電波の強さ)	
コーナーランプ(赤)	遅い点滅 → 速い点滅
警報音	アラーム ビビッピッ・・・ビビッピッ・・・(スローテンポ) ビビッピッ・ビビッピッ・ビビッピッ(アップテンポ) メロディー ~~~~~ メロディー ~~~~~
受信感度	LOW(赤) 警報音が鳴らない HI(橙) 警報音が鳴る S-HI(緑) HYP(青)
ステルス波受信(赤)	5バンドランプとコーナーランプが交互に点滅し警報します。(ピロピロ・・・)

24

## 警報・設定ボイス一覧表

### 日本語ボイス一覧表

ボイス内容		
1	ビビビッ	カーロケ無線受信。(1Km・500m) 圏内です。
2	ビビビッ	デジタル無線受信。(1Km・500m) 圏内です。
3	ビビビッ	ヘリテレ無線受信。
4	ビビビッ	350.1無線受信。
5	ビビビッ	署活系無線受信。500m圏内です。
6	ビビビッ	(カーロケ・デジタル)無線受信。接近しています。
7	ビビビッ	この先、取締りポイントです。
8	ビビビッ	(カーロケ・デジタル・署活系・ヘリテレ・350.1)無線設定。
9	ビビビッ	(カーロケ・デジタル・署活系・ヘリテレ・350.1)無線解除。
10	プブブッ	バッテリーチェック充電を行って下さい。

25

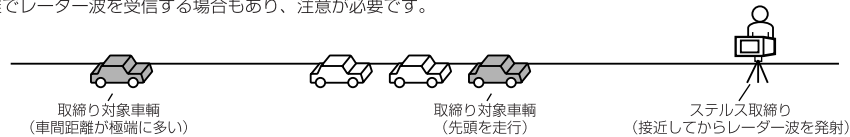
## 取締りの種類と方法

### レーダー式取締り

●代表的なレーダー式取締りについての説明。

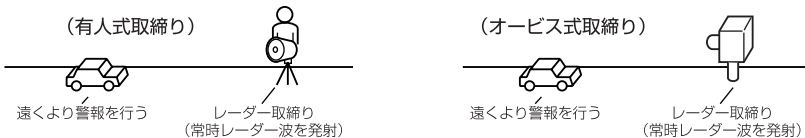
#### (1) ステルス式取締り方法 (有人式取締り)

取締り対象の車が取締り機の近くに接近してから、レーダー波を放射する狙い撃ち的な取締り方式です。走行車両の先頭や、前方走行車との車間距離が極端に長い場合等に測定されるケースが多く、100m以下の至近距離でレーダー波を受信する場合もあり、注意が必要です。



#### (2) レーダー式取締り方法 (有人式取締り/オービス式取締り)

レーダー波を常時放射し、通過する車両の速度を測定します。また、オービス式の場合は違反車両を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しておりレーダー波も500m以上の距離から受信する事ができます。



27

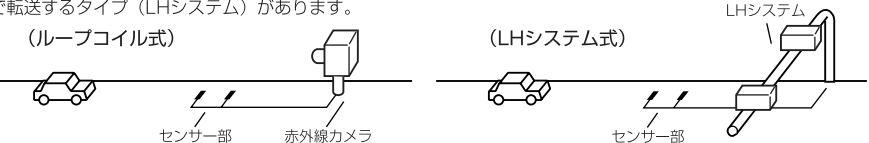
## 取締りの種類と方法

### レーダー式以外の取締り ※本製品では警報が行えません。ご注意ください。

●代表的なレーダー式以外の取締りについての説明。

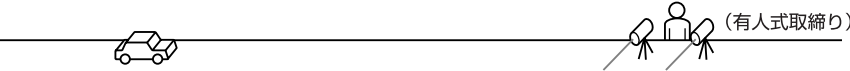
#### (1) ループコイル式/LHシステム式取締り方法 (オービス式取締り)

測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ (金属センサー) を路面下、中央分離帯等に埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車両の写真を撮影するタイプと、新Hシステムと同様に警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送するタイプ (LHシステム) があります。



#### (2) 光電管式取締り方法 (有人式取締り/オービス式取締り)

2点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車両を特定します。



#### (3) 追尾式取締り方法

パトカー・覆面パトカー・白バイ等が、一定の車間距離を保った状態で後方を追尾し走行速度を測定し記録します。

29

## 警報・設定ボイス一覧表

### 英語ボイス一覧表

Voice contents		
1	ビビビッ	Car locator radio received. It is within (1Km・500m).
2	ビビビッ	Digital radio received. It is within (1Km・500m).
3	ビビビッ	Helicopter television radio received.
4	ビビビッ	350.1 services radio received.
5	ビビビッ	Police and emergency services radio received. It is within 500m.
6	ビビビッ	(Car locator・Digital) radio received. It is approaching.
7	ビビビッ	Police checkpoint ahead.
8	(Car locator・Digital・Police and emergency・Helicopter television・350.1 services) radio set.	
9	(Car locator・Digital・Police and emergency・Helicopter television・350.1 services) radio called off.	
10	プブブッ	Checking battery charge battery.

26

## 取締りの種類と方法

### レーダー式取締り

#### (3) 新Hシステム式取締り方法 (オービス式取締り)

レーダー波を間欠放射し、通過する車両の速度を測定し違反車両の写真撮影を自動で行い警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。レーダー波も500m前後で受信します。



#### (4) 移動オービス式/パトカー車載式

ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車両を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締り機を搭載したパトカー車載式があります。どちらも出力の強いレーダー波を放射しますので、500m以上の距離から受信する事ができます。(注) 移動オービスで、本製品で探知できない光電管式もあります。

28

## その他

### 故障かな?と思ったら/製品仕様

●製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	電源スイッチはオンになっていますか? 十分な充電がしてありますか? LSC-V機能は正しく設定してありますか?	10ページ 7ページ 19ページ
警報をしない レーダー波の警報をしない	音量は正しく設定してありますか? カーロケスイッチは正しく設定されていますか?	10ページ 19.21.22.27~29ページ
カーロケ警報を行わない	対象はカーロケターシステム搭載の緊急車両ですか? 駐車時、低速走行時の緊急車両はカーロケ電波の送信休止周期が長い為受信しにくい場合があります。 5バンド無線の設定はされていますか?	14ページ 18.20ページ
無線を受信しない	5バンド無線の設定はされていますか?	18.20ページ
警報音が鳴り続ける	内蔵バッテリーの電池容量が不足していませんか?	13ページ

### ●製品仕様

電源電圧	3.6V (高容量カドニカ電池)	受信周波数	署活系無線 (347~348MHz帯) (361~362MHz帯)
電池容量	450mAh		ヘリテレ無線 (340~372MHz帯)
充電入力電圧	D.C12V~24V		取締り連絡無線 (350.1MHz)
無振動待機時消費電流	1mA以下	受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン
最大消費電流	100mA以下	検波方式	FMトラッキングタイムカウンタ式
受信周波数	Xバンド (10.525GHz) Kバンド (24.200GHz)	動作温度範囲	-10℃~+80℃
	カーロケターシステム (407MHz帯)	充電電圧範囲	-5℃~+70℃
	デジタル無線 (159~160MHz帯)	本体ケース寸法 (mm)	78.0 (W) × 110.0 (L) × 31.0 (H)
		重量 (g)	160.0g

30